2026年9月期（第26期）
決算および会社説明資料

2026年11月13日　証券コード：3939

株式会社カナミックネットワーク

2026年９月期決算のハイライト

1 **上場来、最高売上高・最高利益を更新** P.09

連結：売上高 61.64億円、EBITDA 25.10億円

2 **医療・介護クラウドと健康寿命延伸が増収・増益** P.10

セグメント利益は医療・介護クラウドが前期比128.7%、健康寿命延伸が141.1%

3 **2027年9月期も増収・増益、増配を予想** P.14

売上高70億円、営業利益24億円、1株当たり配当10.50円を予想

4 **2026年９月期は好業績により増配** P.16

通期予想より利益が上方着地したため、26年9月期の配当を増配(9.0→9.5円)

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

2026年９月期の連結決算およびKPIハイライト

売上高	EBITDA※1	営業利益
61.64億円 （前年同期比112.1%）	25.10億円 （前年同期比124.0%）	20.57億円 （前年同期比128.1%）
経常利益	**当期純利益**	**導入地域数**
20.76億円 （前年同期比128.8%）	14.48億円 （前年同期比130.3%）	1,438 （前年同期比102.9%）
有料ユーザーID	**無料ユーザーID**	**アーバンフィット店舗数※2**
268,311 （前年同期比121.0%）	138,568 （前年同期比117.9%）	合計27店舗 （前年同期比112.5%）

※1：EBITDAは営業利益に償却費（減価償却費およびのれん償却費）を加算した額となります。
※2：アーバンフィットの店舗数は、2026年9月末時点の店舗数

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

Agenda

1 グループの強みと業績概要

2 成長戦略　-Kanamic Vision 2035-

3 事業TOPICS

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

1.グループの強みと業績概要



KANAMIC NETWORK

1-1.カナミックグループの事業構成（3本柱）

カナミックグループは日本の課題に対する ソリューション（課題解決）サービスを事業の3本柱にしています

	①	②	③
日本の課題	超高齢社会 （少子高齢化）	健康寿命延伸 （人生100年時代）	スタートアップ支援 DX支援・海外展開 （新産業の創出）
カナミックグループ	KANAMIC NETWORK KANAMIC NETWORK 康纳美克（大连）科技有限公司	URBAN FIT24	Ruby DEVELOPMENT THE WORLD MANAGEMENT
提供サービス	・地域包括ケアDX ・介護DX ・子育て支援DX	・フィットネスジム（指定運動療法施設） ・ボディケア ・健活アプリ	・Webシステム受託開発 ・ERP導入コンサルティング ・AIシステム開発
カスタマー属性	toG toB ・自治体 ・医師会 ・医療法人 ・介護事業者	toC ・一般顧客	toB ・大企業 ・メガベンチャー企業 ・ユニコーン企業 ・スタートアップ企業

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

1-2.グループ企業の事業構成と事業シナジー

■「人生を抱きしめるクラウド」で人と社会に貢献する

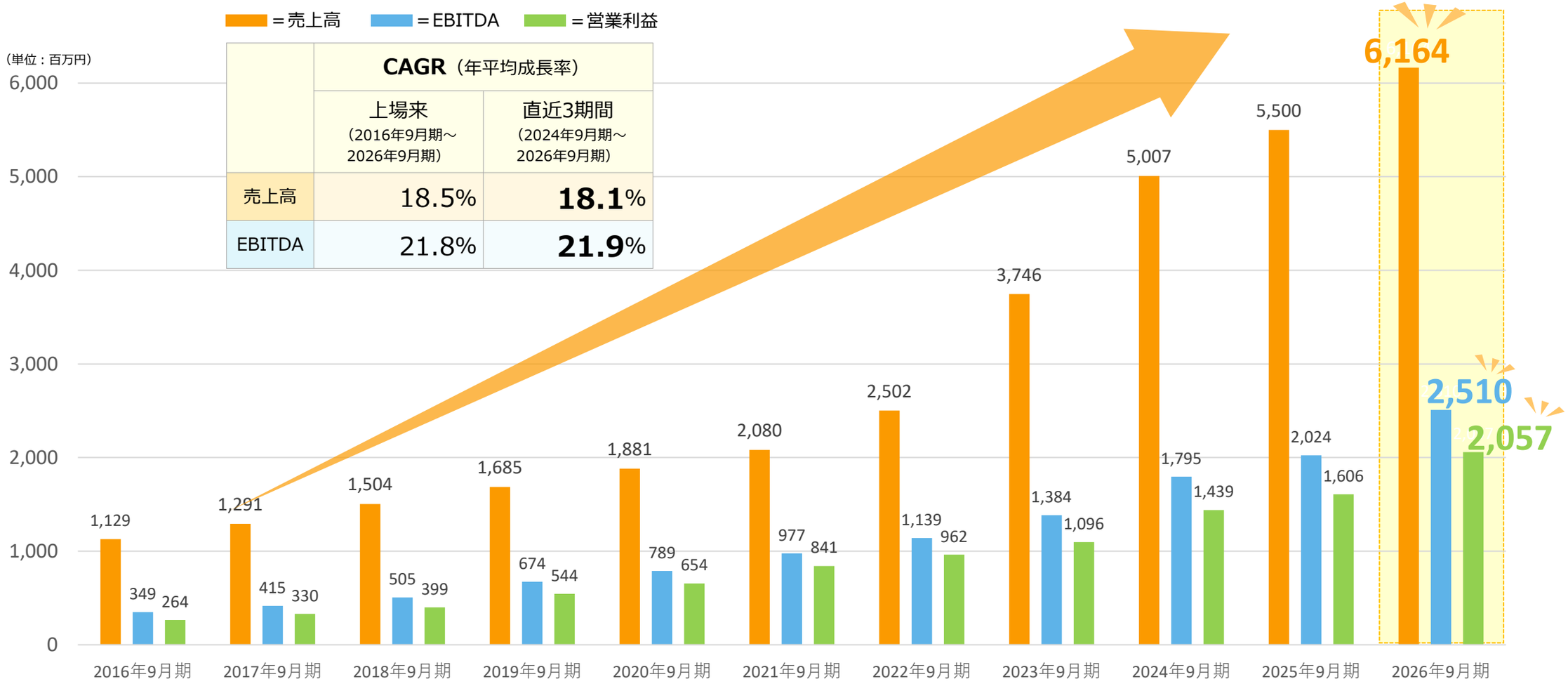
医療・介護・健康分野に特化したヘルスケアプラットフォームを構築し、世界中の人々の健康で豊かな生活を支えます。
生まれてから亡くなるまでの人生を支えるヘルスケア（リアル店舗）からヘルステック（ITサービス）まで提供します。



copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

1-3.カナミックネットワーク 成長の推移

上場来10期連続の最高売上・最高利益を更新し、堅調な成長と株主還元を継続

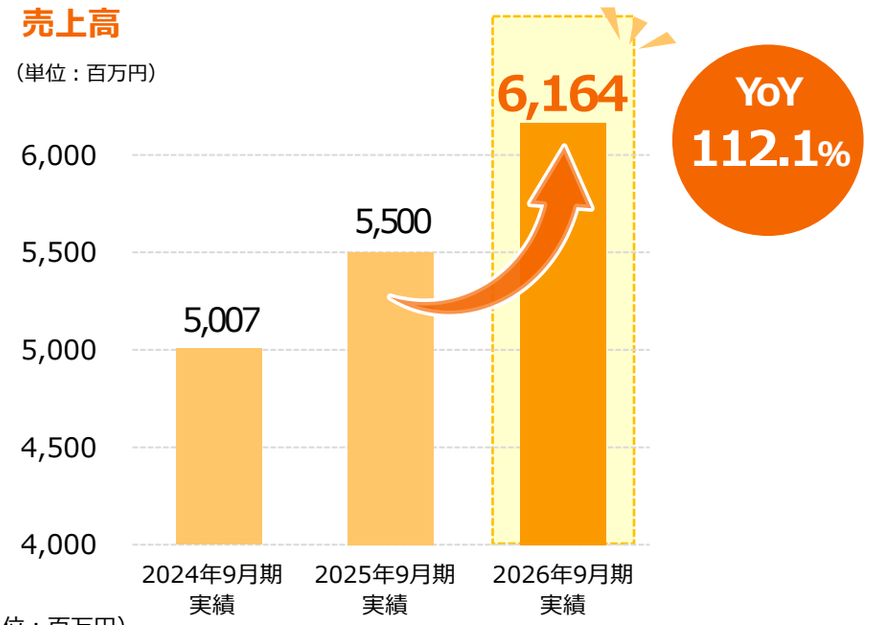


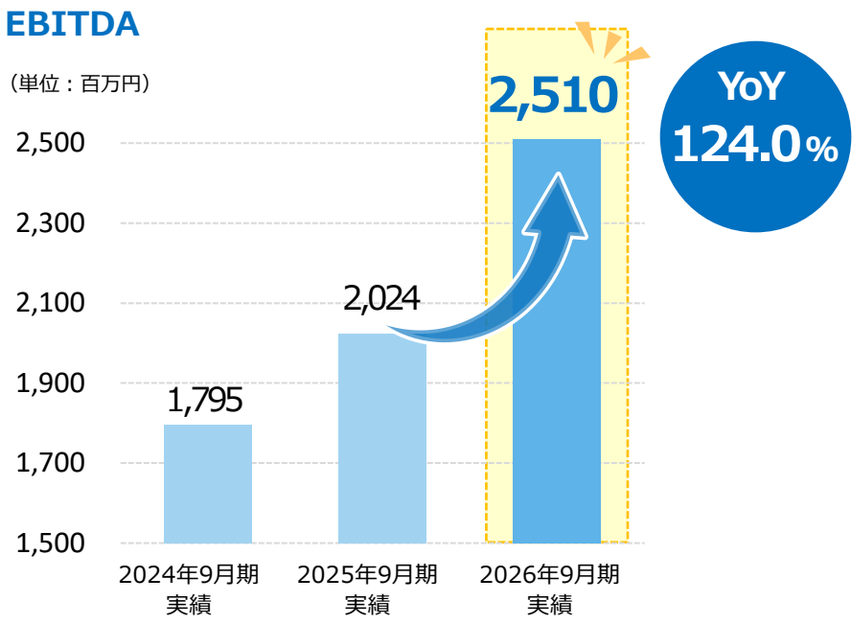
	CAGR（年平均成長率）	
	上場来（2016年9月期～2026年9月期）	直近3期間（2024年9月期～2026年9月期）
売上高	18.5%	**18.1%**
EBITDA	21.8%	**21.9%**

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

1-4.2026年9月期 連結実績

前期比売上高112.1%、EBITDA124.0%の増収・増益を達成





（単位：百万円）

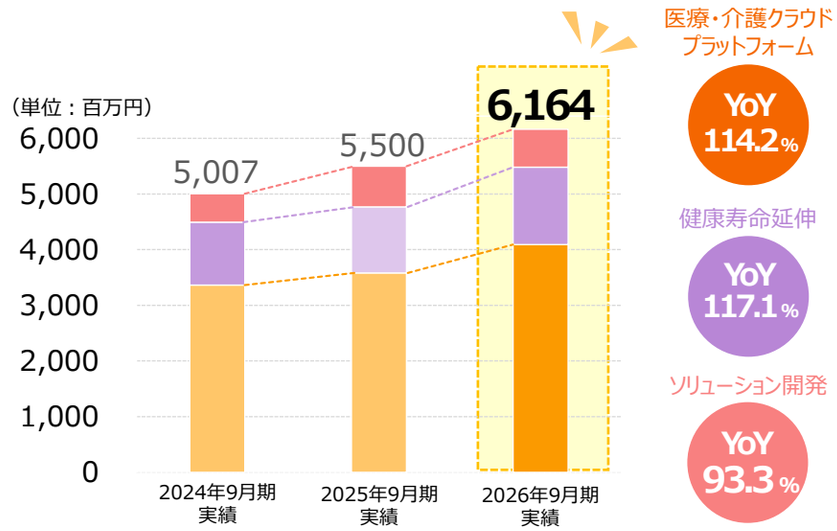
	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期		差 異
	実績	実績	実績	構成比（%）	前年比（%）
売 上 高	5,007	5,500	6,164	100.0%	112.1%
EBITDA	1,795	2,024	2,510	40.7%	124.0%
営 業 利 益	1,439	1,606	2,057	33.4%	128.1%
経 常 利 益	1,447	1,612	2,076	33.7%	128.8%
当期純利益	919	1,111	1,448	23.5%	130.3%
1 株当たり当期純利益	19.38	23.42	30.52		

※EBITDAは営業利益に償却費（減価償却費およびのれん償却費）を加算した額となります。

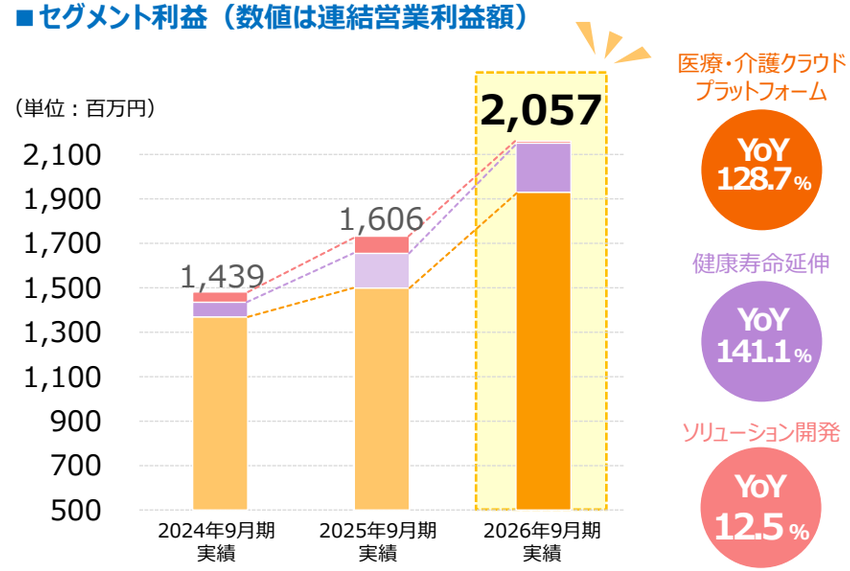
copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

1-5.2026年9月期 セグメント情報

■売上高



■セグメント利益（数値は連結営業利益額）



（単位：百万円）

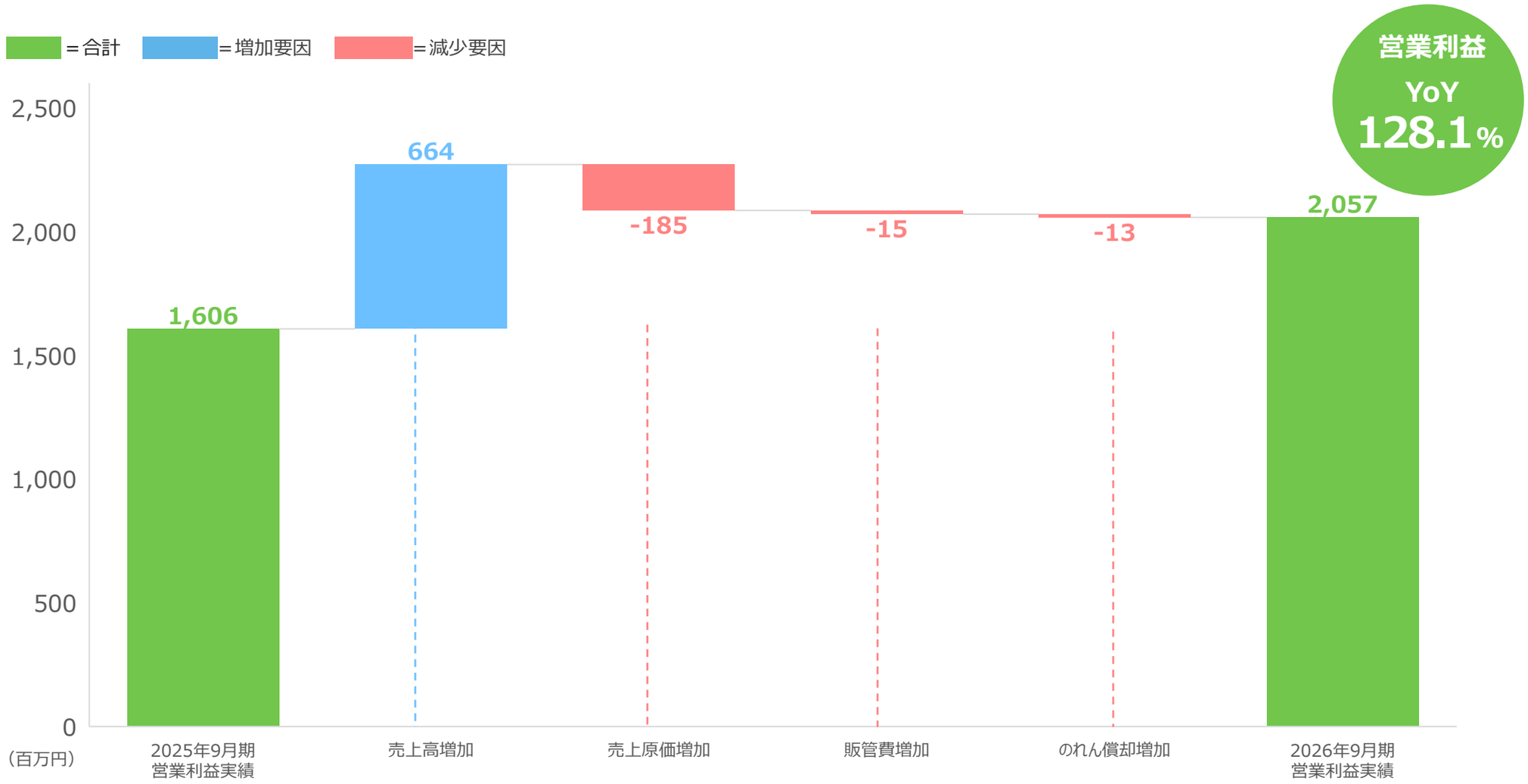
セグメント		売上高とセグメント利益	2024年9月期実績	2025年9月期実績	2026年9月期実績	対前年差異（%）	2025年9月期 利益率	2026年9月期 利益率
KANAMIC NETWORK / KANAMIC NETWORK 康納美克（大连）科技有限公司	医療・介護クラウド プラットフォーム	売上高	3,364	3,582	4,092	114.2	41.8%	47.2%
		セグメント利益	1,369	1,499	1,930	128.7		
URBAN FIT24	健康寿命延伸	売上高	1,130	1,187	1,390	117.1	13.2%	15.9%
		セグメント利益	66	156	221	141.1		
Ruby DEVELOPMENT / THE WORLD MANAGEMENT	ソリューション開発	売上高	511	730	681	93.3	10.5%	1.4%
		セグメント利益	46	77	9	12.5		
合計（※）		連結売上高	5,007	5,500	6,164	112.1	29.2%	33.4%
		連結営業利益	1,439	1,606	2,057	128.1		

※連結営業利益は、各セグメント利益の合計からセグメント間取引、のれんの償却額を差し引いた調整後の利益額となります。
※ソリューション開発セグメントは、AIサービス等の機能強化に向けたグループ内でのエンジニア配置の見直しによるグループ内取引の増加による連結消去により減収、また海外事業において一部の案件でコストが先行したことなどにより減益。

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

1-6.営業利益増減要因

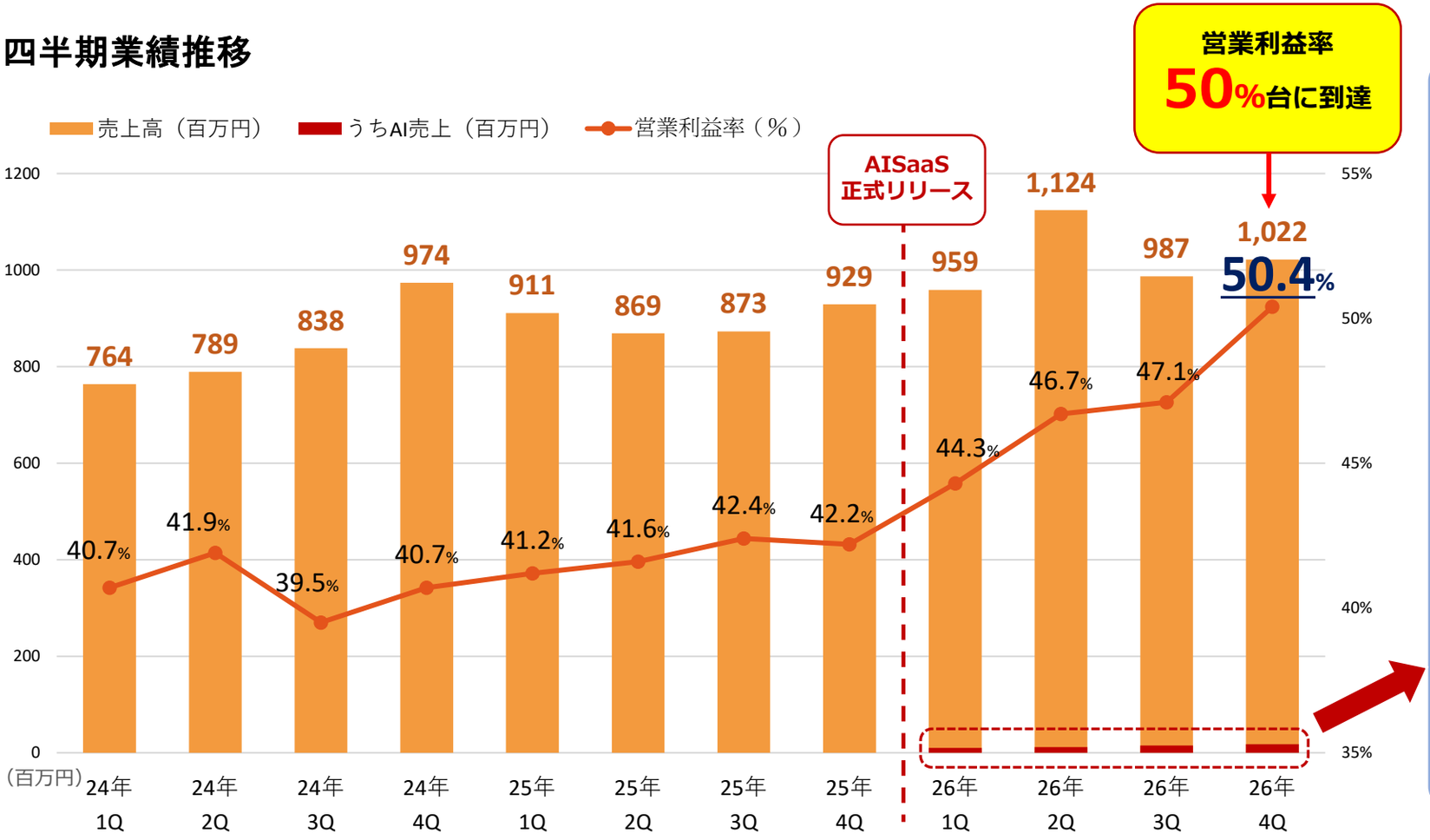
オーガニック成長による売上増と利益率改善による利益成長



copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

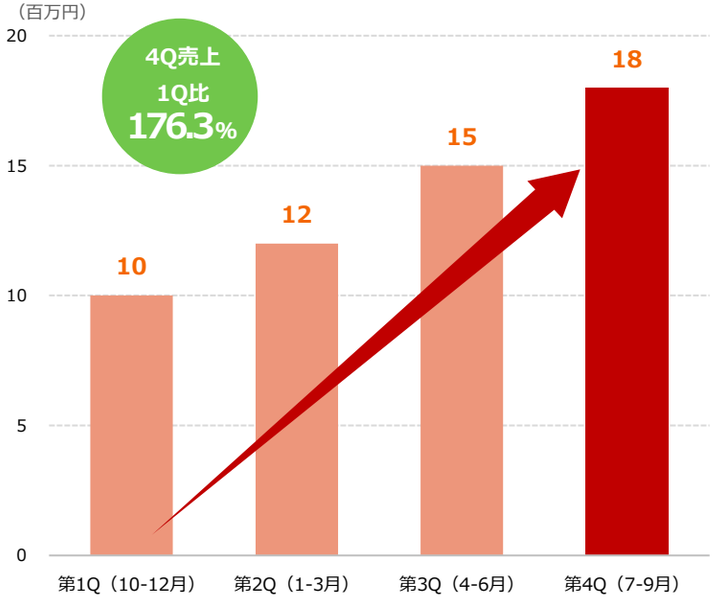
1-7.医療・介護クラウドプラットフォーム業績とAI売上の推移（四半期毎）

四半期業績推移



AI売上（AI課金）四半期推移

AI課金売上は四半期ごとに拡大、第4四半期は第1四半期比176.3%



※AI課金売上の社内集計値（2026年9月期）。通期合計は55百万円。百万円未満四捨五入。

医療・介護クラウドプラットフォーム事業は、ストック型のクラウド収益を基盤に着実に成長を続け、AISaaS正式リリース後、営業利益率改善が加速、直近第4四半期では**50.4%に到達**しました。**※営業利益率50%以上は2035年の目標だったが早くも到達。**

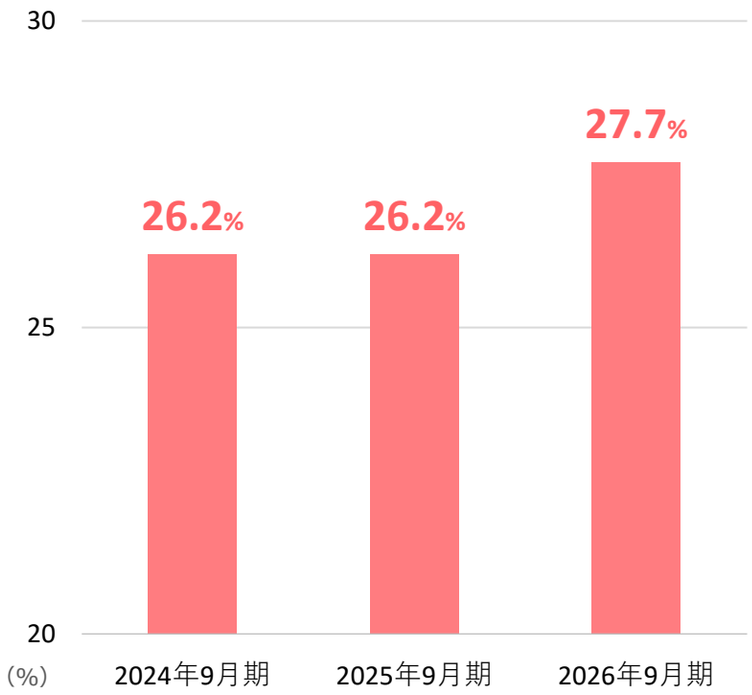
既存顧客へのAI関連のアップセルが、利益率の1～1.5ポイント改善に寄与。新機能リリース後2ヶ月間の無料期間を設けているため、期ずれしながら売上増が続いている。

※各期決算短信より作成。売上高は医療・介護クラウドPF事業の単四半期値、営業利益率＝セグメント利益÷売上高（いずれも短信ベース）。

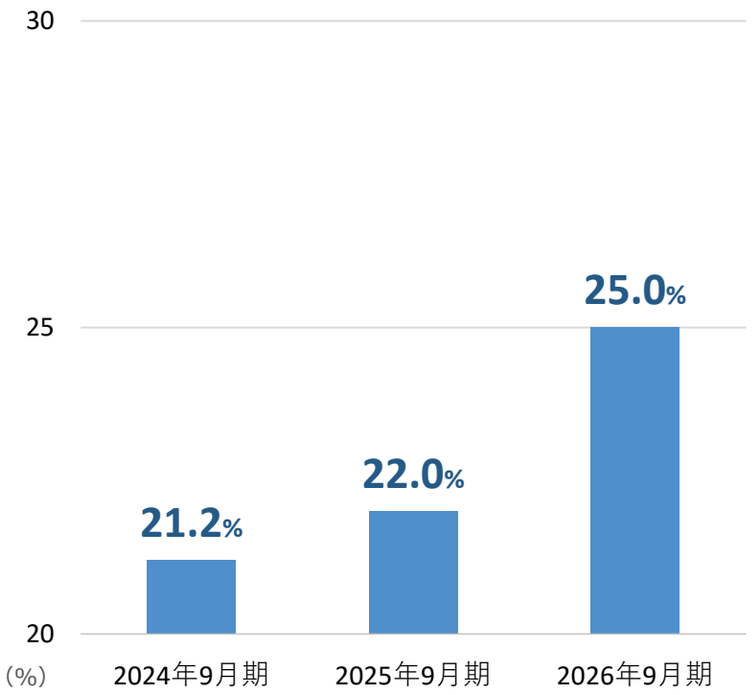
copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

1-8.資本効率指標の推移

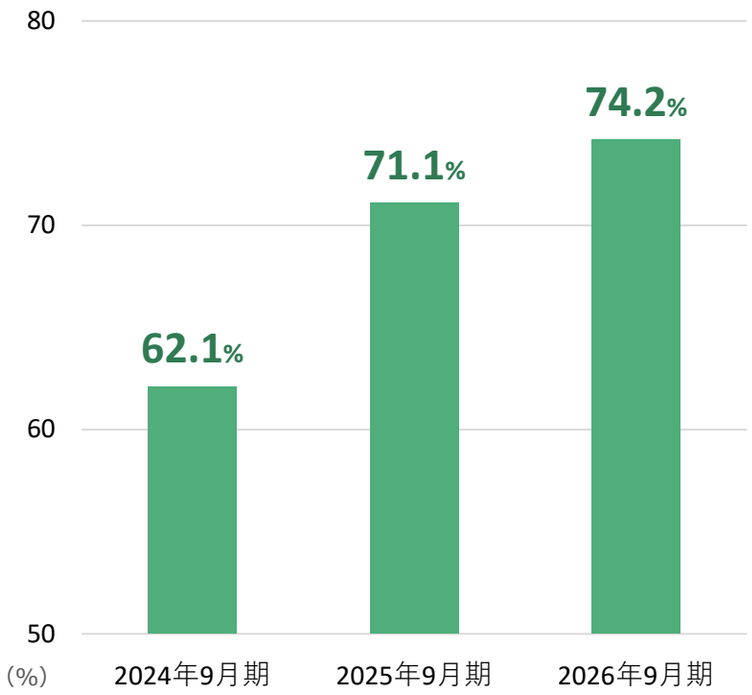
■ ROEの推移（3期）



■ ROICの推移（3期）



■ 自己資本比率の推移（3期）



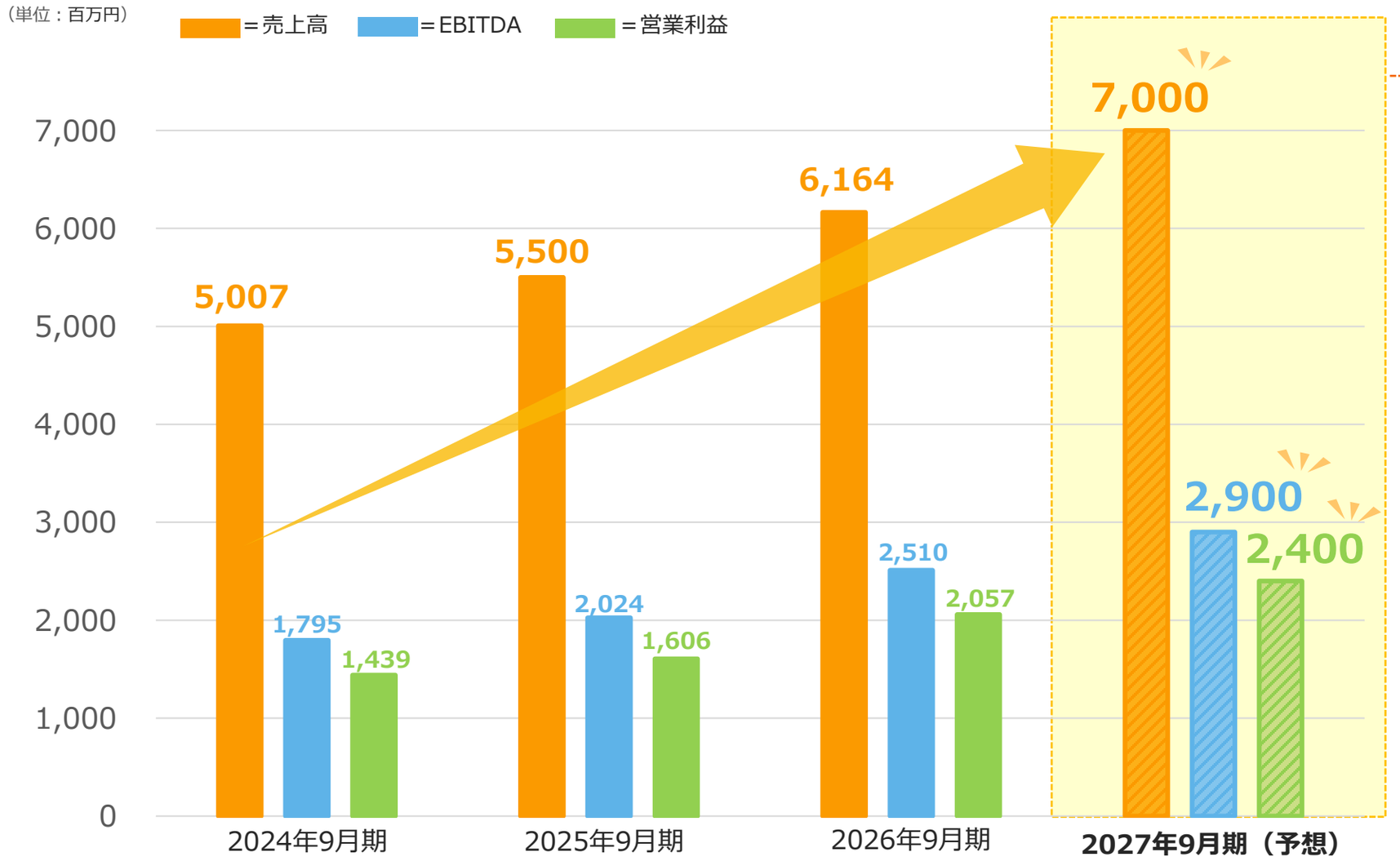
ROEは27.7%へ上昇、ROICは25.0%へ上昇、自己資本比率は74.2%へ上昇。「成長 × 高収益 × 高資本効率 × 財務健全性」を同時に実現しています。

※ROE・ROIC・自己資本比率は各期決算短信等資料に基づく。

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

1-9.今期の業績予想

毎期最高売上高・最高利益を更新し、堅調な成長と株主還元を継続することを予想



【今期の成長要因】
① 既存事業のオーガニック成長
② 介護保険の法改正特需
③ 競合撤退によるリプレース需要
④ 大手企業の導入開始
⑤ AIシリーズのさらなるリリース・拡販
⑥ アーバンフィット店舗数の増加（５～６店舗出店予定）

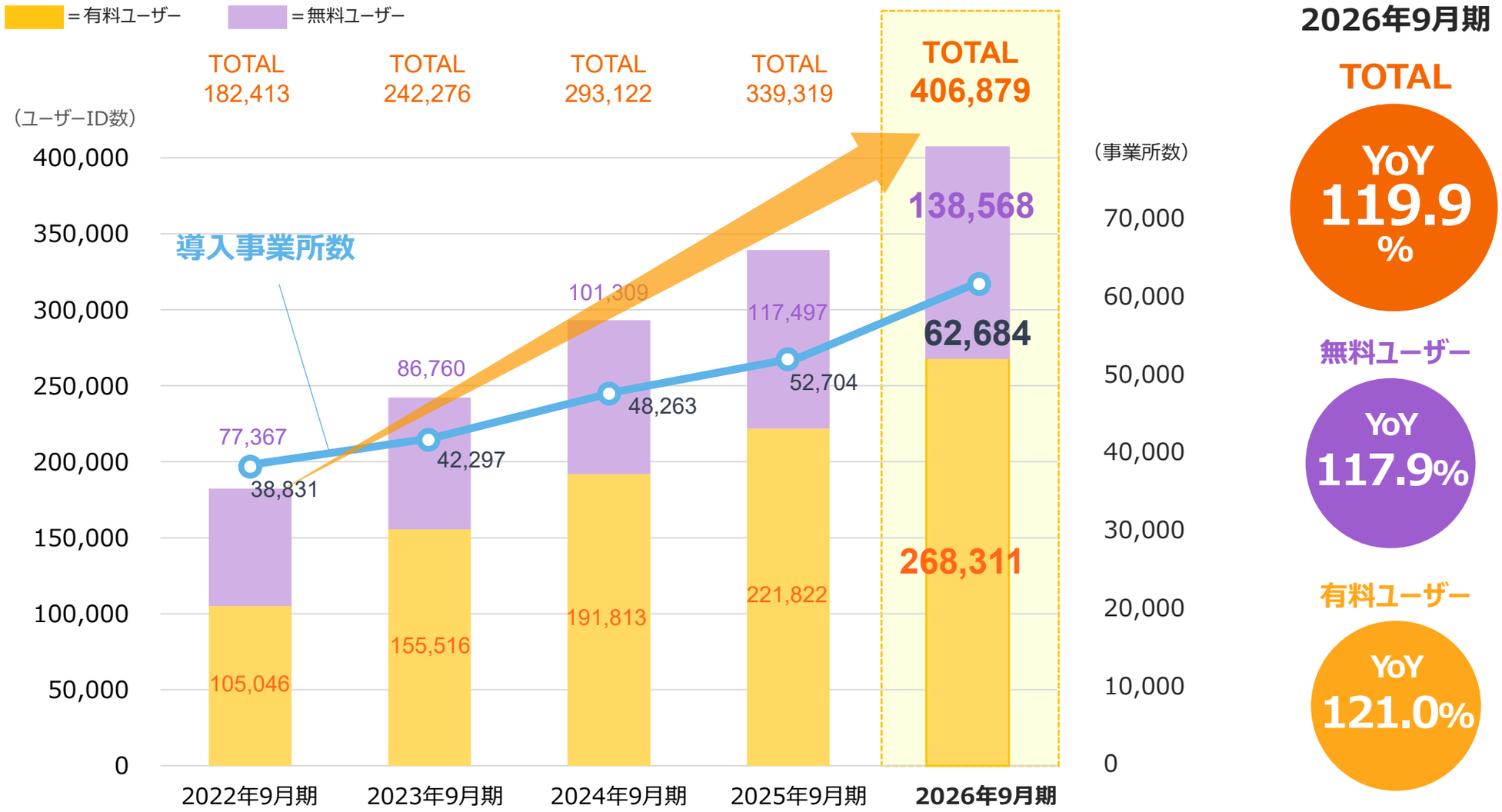
※定期的なM&A関連のデューデリジェンス費用の発生など、積極的な投資検討を行っているため利益の伸びは保守的に予想

※EBITDAは営業利益に償却費（減価償却費およびのれん償却費）を加算した額となります。

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

1-10.クラウドサービス　ユーザーID数と導入事業所数推移

最も重要なKPI、有料ユーザー数・無料ユーザー数、事業所数はともに前期比で大幅な増加を維持



2026年9月期

TOTAL

YoY 119.9%

無料ユーザー

YoY 117.9%

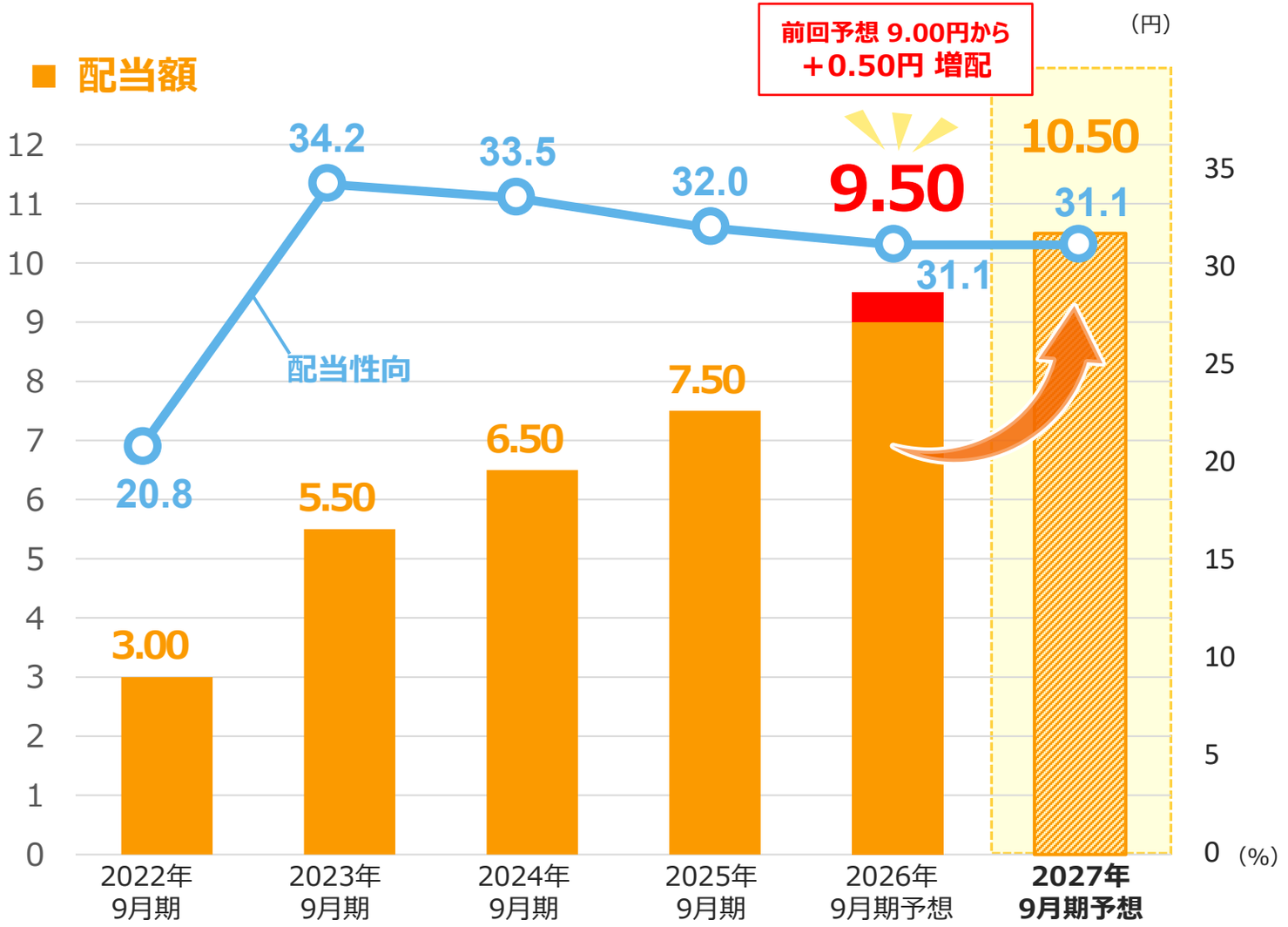
有料ユーザー

YoY 121.0%

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

1-11.株主還元

３０%以上の配当性向方針により、毎期の成長と共に増配を繰り返しております。
26年9月期は通期予想より利益が上方着地したため、9.0円→9.5円に増配を予定。



copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

抽選式優待券およびアーバンフィット24の優待体験券を株主様全員に贈呈しています

従来行っていた抽選式の優待制度（下記記載のJCBギフトカードの贈呈）に加えて株主様全員へのアーバンフィット施設利用の体験チケットの贈呈を開始いたしました。

条件を満たす株主様から抽選でJCBカードを贈呈

優待①

毎年9月30日現在の株主名簿に記載された100株以上を保有の株主様

抽選で**10名様**に**20万円**相当のJCBギフトカード贈呈

優待②

直近の期末株主名簿から100株以上を1年以上継続して保有

（期末・中間株主名簿に同一の株主番号で連続3回以上記載）の株主様

抽選で**3名様**に**20万円**相当のJCBギフトカード贈呈

抽選につきましては、定時株主総会終了後に実施する抽選会において、当社の株主名簿管理人である三菱ＵＦＪ信託銀行立会いのもと、厳正な抽選を行います。また、抽選の結果は当選された株主様の株主番号等を当社ホームページにてお知らせいたします。贈呈時期は、毎年１月中旬頃の発送を予定しております。

＋

アーバンフィット24優待券を株主様全員に贈呈

100株以上：優待券１枚

（7,040円（税込）相当）



施設体験チケット（1枚）
※レンタルタオル、レンタルウェア、レンタルシューズ付き
※全国のアーバンフィットで1枚につき2名様（同伴者1名様可）までご利用いただけます。

2027年9月期

配当および株主優待総合利回り（想定）

約16.5%

（配当利回り2.14%＋UF優待チケット利回り14.3%）

（※10/30終値491円で計算）

※株主番号は全株を売却された後に新たに購入された場合は、新しい株主番号に変わりますのでご注意願います。※当期は2026年9月30日時点の株主名簿に記録または記載され、100株以上保有の株主様より実施いたします。なお抽選方式優待②は、2025年9月30日、2026年3月31日 及び2026年9月30日の全ての基準日における株主名簿に同一株主番号で記録または記載された株主様が対象となります。

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.



2. 成長戦略

- Kanamic Vision 2035 -

KANAMIC NETWORK

2035年に向けたカナミックネットワークの新成長戦略

新たなチャレンジを続け、これまで以上に高い利益率を目指す。

株主還元をはじめ、成長投資による企業価値の最大化を図る。

2035年9月期売上高目標

200～300億円

2035年9月期営業利益目標

80～120億円

営業利益率向上

33.4% ▶ **40%**

（2026年9月期） （2035年9月期目標）

累計純利益目標（2026～2035年）

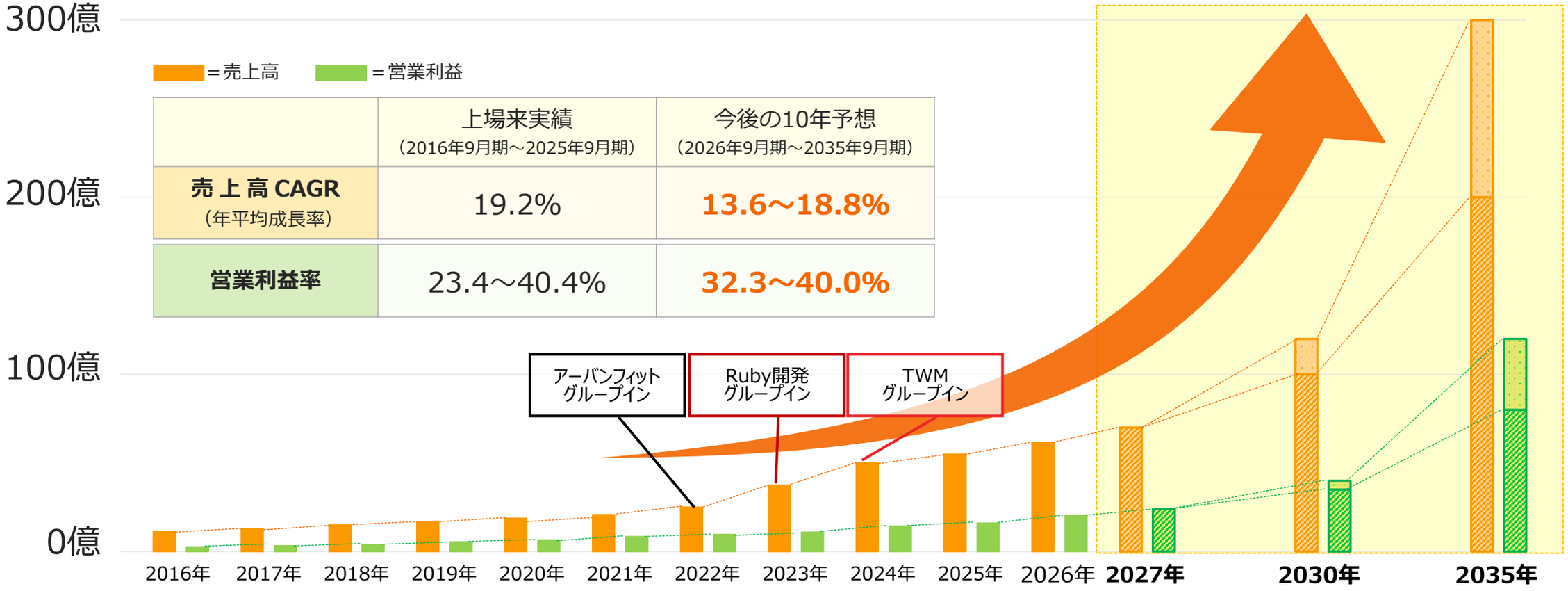
380～600億円

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

2-2.Kanamic Vision 2035 （売上高・営業利益目標と推移（2016年-2035年））

2035年には世界の医療・介護DX/AXをリードする真のグローバル企業へ

（単位：円）



	上場来実績（2016年9月期～2025年9月期）	今後の10年予想（2026年9月期～2035年9月期）
売上高CAGR（年平均成長率）	19.2%	**13.6～18.8%**
営業利益率	23.4～40.4%	**32.3～40.0%**

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2030年	2035年
売上高	11.3億	12.9億	15.0億	16.9億	18.8億	20.8億	25.0億	37.5億	50.1億	55.0億	61.6億	**70.0億**	**100~120億**	**200~300億**
営業利益	2.6億	3.3億	4.0億	5.4億	6.5億	8.4億	9.6億	11.0億	14.4億	16.1億	20.6億	**24.0億**	**35~40億**	**80~120億**
営業利益率	23.4%	25.6%	26.5%	32.3%	34.8%	40.4%	38.4%	29.3%	28.7%	29.2%	33.4%	**34.3%**	**33.3~35%**	**40%**

◀……実　績……▶◀……目　標……▶

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

3. 事業TOPICS

KANAMIC NETWORK

2026年9月24日発表

カナミックネットワーク 「Buddycom」・「LINE WORKSラジャー」との AI音声記録連携サービス提供開始



当社は、「カナミッククラウドサービス」と、株式会社サイエンスアーツが提供する「Buddycom」、LINE WORKS株式会社が提供する「LINE WORKSラジャー」（いずれもインカムアプリ）との連携により、音声から介護記録を自動作成するAI機能の提供を開始しましたので、お知らせいたします。

連携の背景

介護現場では、利用者の状態やケア内容の記録と職員間の共有が欠かせない一方、ケア後のメモの転記や、一日の終わりに記憶をたどりながら行う入力が職員の負担となっています。現場のインカム音声と介護記録をつなぐことで、記録業務に取り組みやすい環境づくりを支援します。

機能概要・特長

・音声を活かした記録作成：インカムでの発話をもとにAIが介護記録を作成し、長文のキーボード入力の負担を軽減
・AIが作成した記録を現場のスマートフォン等で確認し、必要に応じてその場で修正・保存が可能
・普段利用している現場の音声ツールと記録業務をつなぎ、業務プロセスをシームレスに

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

2026年9月1日発表

24時間365日働く“AIロボ社員”
「カナミックかんたんAIロボシリーズ」＋「FDEサービス」を発表



当社は、介護事業所の請求・経理などの事務業務をAIエージェントが実行し、人は承認のみを行う新サービス「カナミックかんたんAIロボシリーズ」を発表し、第一弾として「介護事務AIロボ」「経理AIロボ」の提供を開始いたしました。

主な特長

・AIロボの稼働状況を１つの画面で管理できる「AIエージェントコントロールダッシュボード」を標準搭載
・請求の伝送・支払、経理の確定などの最終承認は人が行う設計
・当社及びグループ会社である株式会社Ruby開発のエンジニアがFDE（現場密着型のAI開発エンジニア）として顧客の現場に入り込み、個社ごとの業務に対応したAIエージェントの開発・組み込みを支援する「FDEサービス」をあわせて提供

今後の展開

労務・給与、窓口対応、経営分析など対象業務の拡充を進め、介護現場の事務負担の軽減に貢献してまいります。

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

2026年8月19日発表

「要支援要保護児童等リスクアセスメントAI評価システム」第20回キッズデザイン賞「安全・安心向上部門」受賞

当社は、特定非営利活動法人キッズデザイン協議会が主催する「第20回キッズデザイン賞」において、当社独自のAIを活用した「要支援要保護児童等リスクアセスメントAI評価システム」が「安全・安心向上部門」を受賞しましたので、お知らせいたします。

受賞の背景

児童虐待相談対応件数が増加する中、自治体の現場では相談記録や支援記録を職員が目視で確認し、経験則でリスクを総合評価しているケースが多く、リスクの見落としや判断要素の確認漏れ、職員異動による知見の喪失などが課題となっています。

本システムの概要

厚生労働省の「児童虐待に関わる児童相談所と市町村の共通リスクアセスメントツール」のリスク要因とリスク度を、AIが相談記録・支援記録から自動判定し、判断軸を標準化します。職員の評価（同意・修正）をフィードバックして自治体ごとに最適化する仕組みを備え、判定根拠を可視化したうえで、最終判断は職員が行います。

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

2026年8月3日発表

カナミックの介護AIクラウドサービスが ASPIC「生成AI利用クラウドサービス情報開示認定制度」第一号認定を取得

当社は、一般社団法人日本クラウド産業協会(ASPIC)が2026年7月に運用を開始した「生成AI利用クラウドサービス(ASP・SaaS)の安全・信頼性に係る情報開示認定制度」において、第一号認定を取得しましたので、お知らせいたします。

認定の概要

認定番号　　：生成AI 0001-2607
認定サービス名：カナミッククラウドサービス
認定日　　：2026年7月31日
認定機関　　：一般社団法人日本クラウド産業協会(ASPIC)

認定取得の背景と意義

国内外で1,000を超える生成AIクラウドサービスが提供される中、「どのサービスが本当に安全なのか」という利用者の不安が高まっています。本制度は、客観的な第三者機関による情報開示認定を通じて、利用者が安心・安全に生成AIクラウドサービスを選択・利用できる環境の整備を目的としています。

当社は、医療・介護・子育て分野において生成AIを活用したクラウドサービスの提供を進めており、このたび本制度の第一号認定を取得しました。当社は今後も、安全・信頼性に係る情報開示を徹底し、利用者が安心して利用できる生成AIクラウドサービスの提供に努めてまいります。

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

2026年7月9日発表

カナミックネットワークが「看護DXアワード2026」にて「訪問看護部門賞」を受賞！
～看護現場の未来を切り拓くデジタル改革が評価～



当社が提供する『カナミッククラウドサービス』は、モダンホスピタルショウ・ナースまつり内の「看護DXアワード2026」（主催：一般社団法人日本男性看護師會ほか）にて、その卓越した成果と現場への寄与が評価され、「訪問看護部門賞」を受賞いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

「看護DXアワード」とは

「看護DXアワード」は、一般社団法人日本男性看護師會が主催する、看護師が主体となって推進するデジタルトランスフォーメーション（DX）の優れた事例やサービスを表彰・共有し、看護現場におけるDX推進を加速させるために創設されたアワードです。

医療DXや病院DXが経営・効率化の視点に偏りがちな現状に対し、本アワードでは真に「看護師の働き方改革、業務効率化、患者ケアの質向上」に貢献する“現場ファースト”の取り組みに光を当てています。本年は、看護記録・看護教育・看護マネジメント・訪問看護・患者支援の5分野において、革新的なデジタル技術やサービスが総合的に審査されました。

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

2026年5月27日発表

カナミックAISaaSの新機能をリリース！
“居宅介護支援経過を考えながら入力する負担”を軽減～
「AI音声入力による支援経過記録作成支援」機能リリース！



当社は、居宅介護支援事業者向けに、ケアマネジャーが事業所のパソコン・スマホ等に向かって発話するだけで居宅介護支援経過記録の素案を作成できる「AI音声入力による支援経過記録作成支援」機能をリリースしました。

機能概要・特長

本機能は、事業所のパソコンのマイク、またはスマートフォンに向かって発話するだけで、AIが発話内容を自動的に整理し、支援経過記録の素案として要約・整形する機能です。考えながら長文を入力する負担を軽減することで、利用者やご家族との対話時間の確保、より質の高いケアマネジメントの実践を支援します。

期待される効果

・事業所での支援経過記録作成業務の大幅な効率化（入力時間の短縮、残業負担の軽減）
・記録内容の均一化・品質向上、記載漏れや記録の遅延の防止
・利用者との面談・対話に向き合う時間の確保、ケアマネジメント本来業務への注力

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

2026年5月25日発表

カナミックネットワーク、シンガポールの高齢者ケア事業者とのMOU締結を発表
AIを活用したケアソリューションを共同開発



当社は、シンガポールの現地高齢者ケア事業者と提携し、AIを活用したケアソリューションの共同開発に向けたパイロット事業を開始するMOUを締結いたしましたので、お知らせいたします。

本事業は、日星両首相によって共同声明された「日本・シンガポール戦略的パートナーシップ」に基づく取り組みです。日本国内で高齢者ケアのデジタルトランスフォーメーション（DX/AI）を推進する当社が、シンガポールの主要な介護事業者であるKwong Wai Shiu Hospital（以下「KWSH社」）およびLions Befrienders（以下「LB社」）と連携し、専門的な業務ソフトウェアソリューションの共同開発に着手します。この国境を越えたパートナーシップにより、当社が日本で培ったAIを活用した介護業務ソリューションをシンガポールの介護現場に導入し、現場スタッフが患者ケアにより注力できる環境の構築を目指します。

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

2026年5月11日発表

当社子会社のアーバンフィットが「全日本シニアバドミントン選手権大会」の大会冠パートナーに決定！挑戦を続けるシニアアスリートを支援！



当社子会社で、全国展開する24時間営業フィットネスジムを運営する株式会社アーバンフィット（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：山本景士、以下「アーバンフィット」）は、このたび、公益財団法人日本バドミントン協会（東京都新宿区、会長：村井満、以下「日本バドミントン協会」）が主催する全日本シニアバドミントン選手権大会の大会冠パートナーとして合意いたしましたので、お知らせいたします。

これにより、本大会は「第43回アーバンフィット24全日本シニアバドミントン選手権大会」として開催される予定です。本大会は、30歳以上の幅広い年代の競技者が参加し、都道府県ごとに予選を勝ち抜いた選手が本戦で優勝を争う、日本のバドミントン界における生涯スポーツ推進の象徴的な大会です。

第43回アーバンフィット24全日本シニアバドミントン選手権大会　本戦大会詳細

日程：2026年10月24日(土)～10月26日(月)
北海道　旭川市、鷹栖町、帯広市、釧路市、室蘭市、苫小牧市、岩見沢市
2026年10月30日(金)～11月1日(日)
北海道　小樽市、札幌市

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

2026年4月13日発表

総務省「シンガポールにおける医療・介護・健康情報共有システム展開に向けた実証の請負」事業が完了しました



当社は、総務省が公募した令和７年度「シンガポールにおける医療・介護・健康情報共有システム展開に向けた実証の請負」事業を完了したことをお知らせいたします。

本事業は、高齢化が急速に進むシンガポールにおいて、日本の健康・医療・介護に関する情報共有システムの有用性を検証し、その海外展開と国際競争優位性の確保を目指すものです。シンガポールでは2023年7月より、60歳以上の国民を対象とした予防医療イニシアティブ「健康促進SG（Healthier SG）」が開始されており、本実証はこれに貢献することが期待されています。

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

2026年4月7日発表

カナミックAISaaSの新機能をリリース！
業務時間を大幅削減する「AI訪問介護モニタリング作成支援」機能リリース！



当社は、訪問介護事業者向けに、サービス提供責任者によるモニタリング業務の効率化と品質向上を支援する「AI訪問介護モニタリング作成支援」機能をリリースしました。

リリースの背景

訪問介護におけるモニタリングは、サービス開始後1か月以内および定期的にサービス提供責任者が利用者・家族との面談等を通じて実施し、目標達成状況や満足度を評価・記録し、介護支援専門員へ報告する重要な業務です。
一方で現場では、

・過去の記録を遡った評価整理に時間がかかる
・書類作成が現場負担となっている
・記載内容のばらつきが生じる

といった課題があり、業務効率化と品質の両立が求められていました。

当社はこれらの課題に対し、モニタリング業務の本来の目的（状態変化の把握・ケア改善）を損なうことなく、書類作成工程を効率化する支援機能として本機能を開発しました。

なお、本機能は、モニタリングの実施・評価・最終記録をサービス提供責任者が行うことを前提とした支援機能です。

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

2026年3月23日発表

各種介護関連会議の議事録作成をAISaaSで後押し！
「AI介護議事録作成」機能をリリース！



当社は、介護事業者におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の一環として、介護専用クラウドソフトとして業界初(※)となる、システム内完結型AI介護議事録作成機能をリリースします。
※自社調べ(介護専用クラウドソフトにおけるシステム内搭載機能として)

機能概要・特長
スマートフォンやレコーダー等で録音するだけでAIが介護議事録を自動作成
サービス担当者会議やケアカンファレンスなどの会議内容を録音すると、AIが音声を自動で文字起こしし、重要事項を抽出して議事録の草案を作成します。スタッフは内容の確認や必要に応じた追記・調整に専念できるため、大幅な時間削減と記録品質の向上を実現します。

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

2026年3月19日発表

当社子会社のアーバンフィット24が25店舗目となる『千歳烏山店』をグランドオープンいたしました！



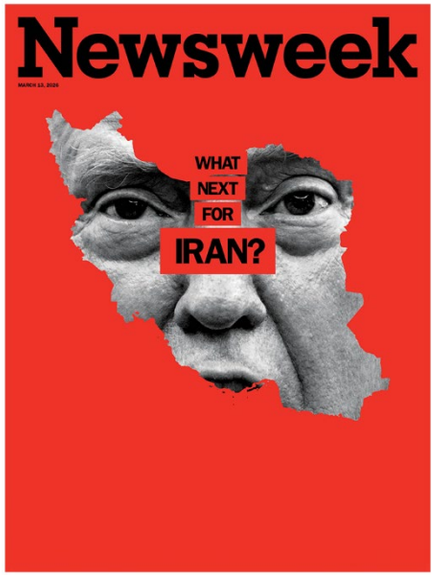
当社子会社で、全国展開する24時間営業フィットネスジムを運営する株式会社アーバンフィット（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：山本景士、以下「アーバンフィット」）は、この度、全国25店舗目（都内5店舗目）となる「URBAN FIT24千歳烏山店」のグランドオープンを記念して、3月17日（火）にオープニングセレモニーを実施いたしました。

「URBAN FIT24」は最低限の内装・マシンを並べるだけの無人型24時間フィットネスジムとは異なり、上質で洗練された空間、ホスピタリティの高いサービス、 そして会員専用ヘルスケアアプリ等を活用したサポートを掛け合わせることで、地域で暮らす人々の“ライフパフォーマンス”を24時間支える次世代型フィットネスジムです。 理学療法士監修の運動プログラムやボディケア付きパーソナルトレーニング等、身体を鍛えるだけでなく“コンディショニング”視点を取り入れ、一人ひとりが自分らしいペースで、 心地よく健康習慣を続けられる環境を提供するウェルネスブランドとして、これからも新しい価値を届けていきます。

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

2026年3月18日発表

「Newsweek International」にインタビュー取材記事が掲載されました





当社は、このたび海外メディアである「Newsweek international」紙にて、当社代表取締役社長 山本拓真のインタビュー取材記事が掲載されましたので、お知らせいたします。

■掲載誌
Newsweek International（2026年3月13日号）

掲載内容は、以下よりご覧いただけます。
https://d.newsweek.com/en/file/478975/health-care-innovation-how-tech-tackling-aging-staff-shortages-rising-costs.pdf

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

2026年3月17日発表

株式会社アーバンフィット、千代田区「ちよだアクティブシニア塾」に参画
高齢者の介護予防・フレイル対策・社会参加を促進





当社子会社で、24時間型フィットネスジムを運営する株式会社アーバンフィット（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：山本景士、以下「アーバンフィット」）は、2025年6月に千代田区の飯田橋駅前に店舗を出店しており、この度東京都千代田区が推進する高齢者向け事業「ちよだアクティブシニア塾」において、新たな協力企業として千代田区と協定を締結いたしました。

千代田区は令和7年4月1日から、公官民連携による高齢者の日常生活支援を推進するため、「ちよだアクティブシニア塾」を開始しています。このたび、事業メニューの拡充を図るため、令和8年3月13日（金曜日）にアーバンフィットが新たに協力企業として参画いたしました。

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

2026年3月3日発表

手入力ゼロへ。入力作業負担の大幅削減をAISaaSで後押し！「AI-OCR 介護保険証読み取り・自動入力」機能をリリース！



当社は、介護事業者におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の一環として、AI-OCR技術を活用した「介護保険証の読み取り・自動入力機能」をリリースいたします。

機能概要・特長

・スマートフォン等で撮影するだけで、介護保険証の情報をカナミッククラウドサービスに自動入力！

スマートフォンやタブレットで介護保険証を撮影するだけで、AI-OCRが自動的に文字を認識し、システムに必要な情報を入力します。

本機能を利用することで、従来のように手書きでメモを取り、そのコピーを事業所に持ち帰り改めて情報を手入力するといった、煩雑な作業は必要ありません。訪問先やご利用者宅で、その場で撮影・登録が完了するため、業務の効率化を実現いたします。

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

2026年2月6日発表

従業員への健康増進の取り組みが評価
株式会社アーバンフィットが「スポーツエールカンパニー2026」の認定を取得



当社子会社で、大阪府を中心に24店舗の24時間営業フィットネスジムを運営する株式会社アーバンフィットは、スポーツ庁から従業員が行うスポーツ活動の支援や促進に向けた取り組みを実施している企業として、昨年に続き今年も「スポーツエールカンパニー」に認定されました。

従業員の健康増進の取り組みについて

弊社は従業員一人ひとりが心身ともに健康であることが、社業発展と経営理念の実現および従業員一人ひとりが豊かな人生をおくることに繋がると考え、弊社保有施設の利用促進を中心とした健康増進の取り組みを行っています。今後も従業員の運動を奨励することで従業員及び社会全体の健康増進に貢献してまいります。

従業員への運動奨励策の例

勤務時間に30分間自社施設（ジム）を利用し運動を取り入れ運動習慣を身につける取組み。

スポーツエールカンパニーについて

「働き盛り世代」が一日の大半を過ごす職場において、スポーツに親しむきっかけづくりを進めていくことを目的として、従業員の健康増進のためにスポーツ活動の支援や促進に向けた積極的な取組を実施している企業を「スポーツエールカンパニー」（英語名称:Sports Yell Company）としてスポーツ庁が認定するものです。詳細は以下スポーツ庁ホームページをご覧ください。

スポーツエールカンパニー：スポーツ庁 (mext.go.jp)

スポーツエールカンパニー2026認定企業一覧

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

2025年10月16日発表

「東京都ACPポータルサイト設計・開発業務委託」の受託
～都民のACP推進を支援するポータルサイトを構築～



出典:https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/iryo/iryo_hoken/zaitakuryouyou/acp_booklet

■本事業の目的と背景

東京都では、都民が将来の医療・介護について希望を表明するためのACP普及啓発小冊子「わたしの思い手帳」の普及啓発を推進しております。

本事業は、「わたしの思い手帳」を電子ブック化することで都民の利便性を高めるとともに、ACPに関する情報を集約・発信するプラットフォームとしてポータルサイトを構築するものです。特に、高齢者を親に持つ若い世代を含む幅広い世代への普及啓発を強化し、「わたしの思い手帳」をより身近で活用しやすいものとすることを目指します。

■ポータルサイトの主な役割

1.「わたしの思い手帳」の電子化と利便性の向上

ACP普及啓発小冊子「わたしの思い手帳」をWeb版として公開し、スマートフォンなど、あらゆるデバイスから閲覧を容易にします。

2.情報発信プラットフォームの強化

ACPや在宅療養に関する東京都の取り組み、関連情報などを一元的に発信し、都民のACP理解と検討を促進します。

3.情報セキュリティの確保

東京都の求める高いセキュリティ要件を満たし安定かつ安心して利用できるサイトを構築します。

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.

注意事項

本説明において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

copyright ©Kanamic Network Co., Ltd All Rights Reserved.